

母性看護学方法論Ⅰ	2年・前期	2単位	教授 堀金幸栄 特任講師 中島初江 助教 倉林 梢
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33210782

1. 授業のねらい・概要

本科目は、妊娠期・分娩期における母性の身体的、心理的・社会的特徴を捉え、対象のニーズ・健康問題への援助について学習する。さらに、胎児の身体的特徴を踏まえて健康状態を把握し、胎外生活への適応促進のための看護を学ぶ。

2. 学修の到達目標

1. 妊娠のメカニズムを理解できる。
2. 妊娠による女性の身体的変化および精神心理・社会的変化を理解できる。
3. 胎児の発育・発達を理解できる。
4. 妊婦健康診査および妊娠中の保健指導の必要性和内容が理解できる。
5. 分娩のメカニズムを理解できる。
6. 分娩各期の看護が理解できる。
7. 異常妊娠・分娩の看護が理解できる。

3. 授業の進め方

講義，課題，演習

4. 授業計画（講義・演習）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	妊娠のメカニズム・母体の生理的变化 妊娠期の心理	講義	予習：テキスト p34～38、43～54、「妊娠の定義と妊娠の成立」「妊娠の生理と不快症状」を読む。 復習：妊娠に伴う母体の変化と不快症状についてまとめる。	中島初江
2	胎児の発育と健康状態	講義	予習：テキスト p38～43、「胎児の成長」を読む。 復習：胎児期の発育と胎児付属物についてまとめる。	中島
3	妊娠期における看護	講義	予習：テキスト p62～89、「妊婦と家族の心理社会的変化」「健康維持のためのセルフマネジメント」「出産と子育て準備」を読む。 復習：妊婦の心理社会的変化と健康維持のための看護についてまとめる。	中島
4	妊娠期の異常と看護	講義	予習：テキスト p94～128、「妊娠期の異常」を読む。 復習：妊娠期の異常と看護についてまとめる。	中島
5	妊婦と胎児のアセスメント①	講義	予習：テキスト p55～68、「妊婦と胎児のアセスメント」「出産を控えた妊婦と家族の心理社会的変化と看護」を読む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	堀金幸栄
6	妊婦と胎児のアセスメント②	講義	予習：テキスト p 69～90、「妊娠期の健康維持のためのセルフマネジメント」「出産と子育ての準備のための看護」を読む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	堀金
7	分娩の要素①	講義	予習：テキスト p130～154、「分娩の生理」「産婦と胎児のアセスメント」を読む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	堀金
8	分娩の要素②	講義	予習：テキスト p168～205、「分娩の異常」を読む。	堀金

			む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	
9	分娩各期の看護①	講義	予習：テキスト p 154～165、「産婦のニーズと看護」「産婦と家族の心理」を読む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	堀金
10	分娩各期の看護②	講義	予習：テキスト p 170～198、「分娩期の異常－アセスメントのポイント、実際のケア」を読む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	堀金
11	分娩各期の看護③	講義	予習：テキスト p 198～205、「産科処置と手術の看護」を読む。 復習：テキストとレジュメをまとめる。	堀金
12	演習内容の説明・演習事前課題	演習	予習：技術テキスト p21～26、40～43、82～102「妊婦の看護にかかわる技術」「産婦の看護にかかわる技術」を読む 復習：レジュメやテキストを参考に演習項目の技術確認を行う。	倉林梢
13	演習：妊娠・分娩期の看護技術	演習	予習：レジュメやテキストを参考に演習項目の技術確認を行う。 復習：演習評価表を記載する。	倉林・堀金・他
14	演習：妊娠・分娩期の看護技術	演習	予習：レジュメやテキストを参考に演習項目の技術確認を行う。 復習：演習評価表を記載する。	倉林・堀金・他
15	妊娠期・分娩期・演習のまとめ	講義・演習	予習：レジュメやテキストを参考に演習技術について評価が低かったところを確認しておく。 復習：配布した母性看護方法論Ⅰまとめの課題資料を参考にポイントをまとめる。	堀金・倉林

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）80％， 演習態度・課題レポート20％ で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：小林 康江他(2020)：ナーシンググラフィカ 母性看護学② 母性看護の実践 メディカ出版
荒木 奈緒他(2020)：ナーシンググラフィカ 母性看護学③ 母性看護技術 メディカ出版
参考文献：森 恵美他(2020)：系統看護学講座 母性看護学[2] 母性看護学各論 医学書院

7. 準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業の範囲をテキストで最低1時間の予習をして臨み、授業内容について1時間以上の復習を行うこと。

8. 受講上の留意事項

母性看護学実習Ⅰ，母性看護学実習Ⅱの先修科目である。

9. 課題に対するフィードバックの方法

提出された課題は教員が内容を確認して返却する。内容の不備のあるものは再提出を求める。
試験終了後口頭で試験問題の解答と解説を行う。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり、修得出来ない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は、以下の実務経験を活かして実施される

医療機関における助産師としての実務経験を活かして、講義・演習を行う。